

特別解説

ESMA が公表した IFRS 執行決定事例集第29巻

はじめに

欧州証券市場監督機構（European Securities and Markets Authority。以下「ESMA」という。）は、欧州金融市場の機能を改善するために証券法規と規制の分野で活動し、欧州各国の金融規制当局間で投資家保護及び協力を強化することを目的とした欧州連合の専門機関である。その活動の一環としてESMAは、国際財務報告基準（IFRS）の適切な適用に関連する情報を財務諸表の発行者及び利用者に提供する目的で、欧州各国の執行者（規制当局等）による財務諸表に関する執行決定の機密データベースを開発・運用しており、そこからの抜粋をホームページに公表している。

事例集はこれまでに第29巻まで公表されている。このうち、2015年11月に公表された第18巻までは、日本公認会計士協会が和訳を行っており、事例集の原文と和訳ファイルは、日本公認会計士協会のホームページから入手できる。本稿では、2024年5月27日に公表された直近の事例集（第29巻）に掲載されている事例を紹介することとしたい。

事例集第29巻に収録されている事例

直近に公表された事例集第29巻に収録されている5件の事例の表題と、関連するIFRSの

基準書を一覧にして示すと次のとおりである。

- ① 重要な影響力（IAS第28号「関連会社及び共同支配企業に対する投資」）
- ② 関連当事者取引（IAS第24号「関連当事者の開示」）
- ③ 期中財務報告における開示（IAS第34号「期中財務報告」、IAS第36号「資産の減損」及びIFRS第13号「公正価値測定」）
- ④ 予想信用損失の測定（IFRS第9号「金融商品」）
- ⑤ 公正価値の開示（IFRS第13号「公正価値測定」）

具体的な執行決定事例

具体的な執行決定事例は、冒頭に表題と対象となる決算期末日、論点の領域及び関連する基準書が明示された後、本文は「発行者（財務諸表の作成者）の会計処理に関する説明」、「執行決定（the enforcement decision）」及び「執行決定の根拠」の3部構成となっている。本稿では、収録されている前記の事例のうち、④を除く4件を要約して紹介することとしたい。

① 重要な影響力

対象となる決算期末日：2021年12月31日
論点の領域：重要な影響力